# 形成外科

診療科長
荒田　順

専門医資格等　日本形成外科学会専門医
日本手外科学会専門医
日本創傷外科学会専門医
京都大学　臨床教授
小児形成外科分野指導医
乳房再建用インプラント・エキスパンダー責任医師

専 門 分 野　手外科・先天異常

## □スタッフ

平成30年10月1日時点

| | 氏　　名 | 専門医資格等 | 専門分野 | 得意疾患 |
|---|---|---|---|---|
| 医　　師 | 鈴木　茉友 | 日本形成外科学会専門医 | 形成一般 | 乳房 |
| 医　　師 | 丸川　雄大 | 日本形成外科学会専門医 | 形成一般 | |
| 医　　師 | 海透　修子 | | 形成一般 | |
| 専 修 医 | 熊切　将宜 | | 形成一般 | |

## □診療科の特徴

| | |
|---|---|
| 施設認定等 | 日本形成外科学会認定施設<br>日本手外科学会認定基幹研修施設 |

## □主な対象疾患

先天異常、皮膚・皮下軟部腫瘍、顔面外傷、手外科、瘢痕拘縮、頭頸部・乳房再建

## □診療（業務）内容

当科では

・手足、顔面、体幹の先天異常をはじめとする小児形成外科
・整容を重視した眼瞼下垂、内反症および外反症などの眼瞼形成
・体表における腫瘍の切除、皮膚潰瘍に対する皮膚移植、遊離皮弁による潰瘍の閉鎖などの皮膚疾患に対する整容面に配慮した外科治療
・顔面骨骨折を中心とする顔面外傷に対する整容を重視した治療、口腔外科と合同で行う顎顔面外科
・切断指を含む手外科疾患の初期治療から二次的な機能再建
・頭頸部外科と合同で頭頸部癌に対する癌切除後の機能損失を最小限にすることを目的としたマイクロサージャリーを駆使した組織移植を積極的に行い、乳腺外科との合同で乳がんに対する乳房再建を手がけています。
・レーザー：ルビーレーザー（黒、茶あざ、しみ）、Ｖビーム（血管腫）、ＣＯ２レーザー（小腫瘍の蒸散、瘢痕の修正）を所持しており、美容を目的としたしみに対するレーザー治療など幅広い治療を行っています。

## □ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

| 1日平均患者数 | 新入院患者数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 7.9名 | 228名 | 12.1日 |

外来患者数

| 1日平均患者数 |
|---|
| 19.7名 |

主な術式別手術件数

| 皮膚皮下腫瘍 | 眼瞼形成 | 顔面骨骨折および外傷 | 手外科 |
|---|---|---|---|
| 398件 | 63件 | 112件 | 76件 |

| マイクロサージャリー |
|---|
| 38件 |

## □ 学術活動報告（学会・研究発表など）

| 分類 | 演者（当院） | タイトル | 学会名 | 開催地 | 発表年月日 | 会期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国内学会 | 荒田順　鈴木茉友　海透修子<br>丸川雄大　熊切将宜 | Dupuytren 拘縮に対するコラゲナーゼ注射療法 | 第61回日本形成外科学会総会 | 福岡 | 2018.4.12 | 2018.4.11-<br>2018.4.13 |
| 国内学会 | 鈴木茉友　荒田順　海透修子<br>丸川雄大　熊切将宜 | Basal cell carcinoma with matrical differentiation の1例 | 第61回日本形成外科学会総会 | 福岡 | 2018.4.11 | 2018.4.11-<br>2018.4.13 |
| 国内学会 | 熊切将宜　荒田順　鈴木茉友<br>海透修子　丸川雄大 | 形成外科局所麻酔手術におけるデクスメデトミジン投与<br>の有用性に関する検討 | 第61回日本形成外科学会総会 | 福岡 | 2018.4.13 | 2018.4.11-<br>2018.4.13 |
| 国内学会 | 荒田順　海透修子　丸川雄大<br>熊切将宜 | 当院における頭頸部腫瘍切除後再建症例の検討 | 京都大学集談会 | 京都 | 2018.5.12 | 2018.5.12 |
| 国内学会 | 荒田順　鈴木茉友　海透修子<br>丸川雄大　熊切将宜 | ラクトソーブをより使いやすくするために開発された増し締めドライバーの使用経験 | 第10回創傷外科学会 | 埼玉 | 2018.7.5 | 2018.7.5-<br>2018.7.6 |
| 国内学会 | 荒田順 | ガイドラインシンポジウム<br>多合趾症 | 第27回日本形成外科学会基礎学術集会 | 東京 | 2018.10.17 | 201810.17-<br>2018.10.18 |
| 国内学会 | 荒田順　鈴木茉友　海透修子<br>丸川雄大　熊切将宜 | 腸間膜モニタリング法における精度と合併症について | 第36回頭蓋顎顔面外科学会 | 札幌 | 2018.10.10 | 2018.10.10-<br>2018.10.11 |